



重点施策 ①

未来を託す子育て応援都市

STEP

子どもの数の減少は人口減少に直結し、地域の活力の縮小につながるものであることから、子育てを応援するさまざまな取組を進め、子どもと子育て世代の安心な暮らしを全力でサポートし、子育て世代が魅力を感じるまちを目指します。

学校と地域が連携を深める取組のモデルである複合施設等による校舎の建替えや長寿命化をはじめ、トイレの洋式化などの生活環境の充実のほか、安心して登下校できる環境の確保、アレルギー対策にも対応した安全で安心な学校給食の提供など、子どもが安心して学校生活を送ることができるよう、更なる教育環境の整備に取り組みます。

また、子どもの健やかな成長をサポートするため、貧困や介護などへの支援体制の充実を図るほか、公私連携による保育園の充実、子育てや教育などの分野での大学との連携、医療や福祉等の高等教育機関の誘致など、子育て支援の拡充に努めます。

さらに、子どもの遊び場について、地域の基幹的な公園の整備をはじめ、老朽化した遊具の年次的な改修のほか、すべての人が楽しく健康的に過ごすことができる公園の整備に取り組みます。

● 取組事例

① 教育環境の整備

- 東山代小学校とコミュニティセンター、留守家庭児童クラブの複合施設の整備
- トイレの洋式化など環境の整備
- 通学路への交通安全施設の設置
- 給食センターの設備を更新しアレルギー対策を施す大規模改修
- 児童生徒数の減少に応じた学校規模の適正化
- 子どもの成長と学びを地域全体で支えるコミュニティ・スクールの充実と地域学校協働活動の推進

② 子育て支援の拡充

- 子どもの貧困やヤングケアラーなど困難な環境を抱える子どもへの支援
- 公私連携による保育園の運営や建替えへの支援
- 保育士の専門性の向上など子育てや教育などの分野での大学との連携
- 医療や福祉等の高等教育機関の誘致
- 伊万里遊び場マップなど子育てに関する情報提供の充実

③ 子どもの遊び場の整備

- いまり夢みさき公園など地域の基幹的な公園の整備
- 老朽化した遊具の年次的な改修
- インクルーシブ遊具の設置など障がいの有無に関わらずすべての人が楽しく健康的に過ごすことができる公園の整備
- 雨天時も楽しく過ごすことができる屋内公園の検討

● まちづくりの指標

No.	指 標	単位	実績値	目標値 (R8)
1	子育て支援に「満足」、「どちらかといえば満足」している人の割合	%	36.5 (R3)	55.0
2	小中学校のトイレの洋式化率	%	39.0 (R3)	70.0
3	待機児童の数(保育園)	人	0 (R3)	0
4	公園の遊具の更新率	%	14.3 (R3)	35.7





社会課題を解決するための新しい価値を生み出す源泉となるデジタル技術等のテクノロジーをまちづくりに活用し、誰もが便利で快適に暮らせる社会を目指します。

国においてはデジタル田園都市国家構想を掲げ、全国どこでも誰もが便利で快適に暮らせる社会を目指し、デジタルを人口減少や過疎化など地方の社会課題を解決するための鍵として、デジタルインフラを急速に整備し、官民双方で地方におけるデジタルトランスフォーメーション(DX)を積極的に推進するとしています。

本市においても、デジタル化を推進し、市民の視点に立った住みやすい環境づくりの実現に向け、全庁をあげた体制を整備し、産業、行政、地域、教育などあらゆる分野でDXの推進に向けた取組を進めます。

産業DXとして、デジタル技術を活用したビジネスの展開を支援するとともに、農作業を省力化するスマート農業の導入による担い手不足の解消など働きやすい職場環境づくりの促進を図ります。

次に、行政DXとして、情報基盤を整備し、行政手続きのオンライン化の推進などにより市民サービスの利便性向上を図るとともに、行政事務の効率化を進めます。

また、地域DXとして、市民の情報技術を利用する能力の向上や高齢者等の情報格差の解消を図りながら、デジタル技術を活用した、地域コミュニティ機能の維持・強化のほか、災害発生時の対応につながる安全・安心な地域づくり、移手段の確保など地方で暮らし続けることについての不安の解消への取組などにより、いつまでも暮らしやすい地域づくりに取り組みます。

さらに、教育DXとして、プログラミング教育の推進など誰一人取り残すことのない学びの実現に努めるとともに、オンライン授業の実施など場所を選ばない学習環境の構築を図り、地域活性化の基盤となる子どもたちへの質の高い教育の提供を目指します。

● 取組事例

① 産業DXの推進

- 企業の業務改善による生産性向上や競争力強化への支援
- IT関連企業との交流・連携の推進
- DXセミナーやICTフェアの開催による市内企業のDXに関する取組の促進
- 観光など情報発信の強化
- グリーンスローモビリティ等民間実証実験の誘致
- スマート農林漁業の導入促進による作業の省力化
- 在宅勤務やサテライトオフィスでの勤務に向けたテレワーク環境の構築促進

② 行政DXの推進

- 行政手続きのオンライン化やキャッシュレス決済の推進
- 自治体情報システムの標準化・共通化の推進
- デジタルサービスの基盤となるマイナンバーカードの普及促進
- 窓口のデジタル化や業務診断によるデジタル化の推進と業務の効率化
- 住民公開型GISシステム等を活用した行政情報の見える化の推進
- 感染症対策や災害時などのテレワーク環境の構築推進
- 行政手続きオンライン申請窓口ツールなど伊万里市公式LINEアカウント利用促進
- 仮想空間などICTを用いた関係人口創出の研究
- ホームページやSNSなど中高生による情報発信の検討

③ 地域DXの推進

- 回覧板の電子化や地域内で情報共有できるツールの導入
- 公共施設の予約システムの構築
- 地図情報など災害時に有用な情報のデータ化による災害情報の迅速で的確な発信
- 市民向けICT講習会や高齢者向けスマートフォン教室の開催
- 遠隔医療の推進や買い物等の支援
- 高齢者の生きがいづくりや若者への魅力づくりとしてeスポーツの導入検討
- 公共交通機関における路線運営の効率化の検討

④ 教育DXの推進

- GIGAスクール構想で整備された機器や環境を十分に活用した授業等の研究・開発やプログラミング教育の推進
- オンライン授業の実施など場所を選ばない学習環境の構築
- 誘致IT企業と連携したICT支援員の配置による学校でのICT活用の推進
- SNS被害防止に向けた安全教育プログラムの開発などの対策
- デジタル技術を活用した教職員の業務の効率化と負担軽減
- デジタル分野の専門学校等の誘致の検討

● まちづくりの指標

No.	指 標	単 位	実績値	目標値 (R8)
1	産業DX推進事業による啓発・支援企業数	件	21 (R3)	60 (累計)
2	伊万里市公式LINEアカウントへの登録者数	人	5,300 (R3)	10,000
3	庁内でオンライン手続きができるようになったサービス数	個	18 (R3)	40
4	小中学校でタブレット端末の1日当たりの使用回数	回	(小学1.2年生) 1.18回 (小学3年生以上) 3.08回 (R4)	(小学1.2年生) 3回以上 (小学3年生以上) 5回以上



重点施策 ③

競争に打ち勝つ産業都市



本市の基幹産業である農業への支援をはじめ、伊万里ブランドなど本市ならではの魅力を効果的に活用した観光の振興、商工業者の意欲あるチャレンジへの支援などにより、地場産業を振興し地域経済の活性化を図ります。

農業の振興では、将来を担う若者や意欲に満ちた新規就農者の育成と確保をはじめ、伊万里牛や伊万里梨など産地の維持と振興を図るほか、持続的な経営基盤の確立を図るなど、農業を支える人への支援を進めます。

観光の振興については、本市ならではの伊万里ブランドが持つ強みを活用したプロモーション活動の拡充により、大川内山をはじめとする観光地への誘客の強化のほか、まちづくりの活動と連携した体験型観光の充実など、更なる観光客数の拡大に取り組みます。

また、商工業の振興においては、女性が働きやすいIT企業など事務系企業の誘致をはじめ、コロナ禍の克服に取り組む意欲ある中小事業者等への補助や、伊万里焼などの伝統産業の振興、中心市街地の賑わいづくりなど、地域経済を支える本市産業の更なる成長のための取組を推進します。

● 取組事例

① 農業の振興

- 新規就農者への機械等の導入や園芸用ハウス設置など就農に要する経費への支援
- 牛舎改修や改植への補助等、伊万里牛や伊万里梨などの産地の維持と振興
- 農地の区画整理や新たな農業の担い手の確保など持続的な経営基盤の確立
- 廃止した公共施設を活用した新しい農業の魅力の創出
- ふるさと応援寄附を活用した農業者への支援の充実

② 観光の振興

- インフルエンサーを起用したプロモーション活動等による大川内山をはじめとする観光地への誘客の強化
- 伊万里焼や食、体験など伊万里ブランドが持つ強みを活用した観光客数の拡大
- 地域ブランディングの推進やPR用CMの作成など市内外への情報の発信
- まちづくり活動と連携した体験型観光の充実
- 周遊観光券の発行等による観光客数の拡大と周遊の促進、観光消費額の増加
- 道の駅伊万里「伊万里ふるさと村」の再生への支援
- 伊万里の豊かな自然をいかしたキャンプ場などの整備の検討
- 新たな働き方による交流人口や関係人口の拡大の検討

③ 商工業の振興

- 地域おこし協力隊を活用した中心市街地へのIT企業など事務系企業の誘致
- 意欲ある中小事業者の新商品開発等のチャレンジへの支援
- 伊万里焼の伝統技術の継承等の取組への支援
- 駅前広場等の有効活用や遊休地の利用促進等による伊万里駅周辺の開発
- 中高生が気軽に集える場など中心市街地の店舗等の活用

● まちづくりの指標

No.	指 標	単位	実績値	目標値 (R8)
1	新規就農者数	人	13 (R3)	64 (累計)
2	本市の観光客数	千人	918 (R2)	1,397
3	観光の振興に「満足」、「どちらかといえば満足」している人の割合	%	37.4 (R3)	50.0
4	伊万里・有田管内の高校生(就職者)の市内就職率	%	30.6 (R3)	40.0
5	企業誘致件数	件	2.7 (R1-3平均)	12 (累計)





アジア諸国との近接性と平穏で深い水深を持つ西九州随一の良港である伊万里港の強みをいかし、国際コンテナ航路の維持拡大や集荷活動の強化に取り組み、国際物流拠点としての地位の向上を図ります。

新規荷主を開拓し輸出入取扱貨物の増大を図るため、積極的なポートセールスを展開します。

関係機関との連携により伊万里港の長期構想の策定を促進し、浦ノ崎地区廃棄物処理用地の利活用を促進するとともに洋上風力発電に関係する企業の誘致などに取り組みます。

国際コンテナ航路の維持拡大や集荷活動の強化に向け、国・県への積極的な要望活動を進め、港湾機能の拡充を図ります。

市民アンケートでは、「港湾の活用」について約50%の市民がわからないと回答しており、伊万里港についての市民意識の向上を図るため、海に親しむ公園等の整備や伊万里港を活用したイベントの開催等を行います。

● 取組事例

① ポートセールスの充実

- 荷主や船社等の訪問、伊万里港セミナーの実施

② 伊万里港の長期構想策定の促進

- 港湾計画策定の促進
- 浦ノ崎地区廃棄物処理用地の利活用の促進
- 洋上風力発電に関係する企業などの誘致

③ 港湾機能の強化

- コンテナヤードや臨港道路等の整備促進
- 国際コンテナ航路の維持拡大や集荷活動の強化
- 東南アジアや台湾との直接航路の誘致

④ 港への市民意識の向上

- 海に親しむ公園等の整備
- 伊万里港を活用したイベントの開催
- 海洋レジャー等の体験スポットの周知

●まちづくりの指標

No.	指 標	単位	実績値	目標値 (R8)
1	港湾の活用に「満足」、「どちらかといえば満足」している人の割合	%	31.4 (R3)	40.0
2	コンテナ貨物の取扱量	TEU	37,458 (R3)	43,000
3	荷主等へのポートセールスの活動回数	回	1 (R3)	8 (累計)
4	伊万里港を活用したイベントの開催数	回	1 (R3)	4 (累計)





重点施策

5

SDGs 推進都市

UP

「いまりSTEP UPプロジェクト」を推進するためには、プロジェクトを支える人材の確保と多様な世代の連携が不可欠であり、これを基盤としながら、移住・定住を促進するための施策の展開や脱炭素社会の構築など、SDGsの推進により、若者が希望を持って暮らすことができる、豊かで活力のある「未来につながる持続可能都市」を目指します。

市のすべての事業をSDGsの17のゴールと結び付け、まずは、職員の意識改革と市民への啓発に取り組めます。

また、2050年(令和32年)のカーボンニュートラルの実現に向け、省エネ活動の啓発をはじめ、環境負荷低減に向けた取組を進め、脱炭素社会の構築に努めます。

さらに、持続可能な伊万里市づくりを進めるため、市内企業の大型投資を受けた人口減少対策として、UIターン者への支援の拡充や移住プロモーション活動の強化をはじめ、市外の若者のまちづくり活動への参加による関係人口の拡大など、移住・定住を促進する施策の強化を図ります。

そのほか、新型コロナウイルス感染症対策として市民の命と健康を守る取組の継続をはじめ、散弾銃射撃場の鉛汚染対策の実施や、高齢者が元気に活躍できる地域づくりの推進のほか、市街地の一体的な開発として、市民会館跡地における高齢者や子育て支援などの機能を集約し複合化した施設の整備の検討など、豊かで活力のある誰一人取り残さない社会の実現のため、伊万里市版SDGsの推進を図ります。

● 取組事例

① 職員の意識改革と市民への啓発

- すべての事業のSDGsへの結び付け
- 市の部署ごとのSDGs宣言の実施
- 17のゴールをテーマにしたトライアル事業の実施
- 人口減少対策の推進と地域課題の解決に向けた研究

② 脱炭素社会の構築

- カーボンニュートラルの実現に向けた取組の推進
- 再生可能エネルギーの普及・啓発
- 省エネ活動の啓発と実践活動の促進
- 佐賀大学海洋エネルギー研究所の活動の市民への周知
- 照明のLED化や電気自動車等低公害車の導入など環境負荷軽減につながる取組

③ 移住・定住施策の強化

- 移住相談会の開催や移住情報の発信など移住プロモーション活動の強化
- 移住支援金等の活用によるUIターン移住者への支援
- 市外の若者へのまちづくり活動についての情報発信や参加機会の創出
- あらゆる機会を捉えた関係人口の創出
- 企業との連携による事業所のワーク・ライフ・バランスや男性の育児休業取得などの促進

④ 伊万里市版SDGsの推進

- 新型コロナウイルス感染症対策の推進
- 散弾銃射撃場の鉛汚染対策の実施
- 高齢者いきいき伊万里プランなど高齢者が元気に活躍できる地域づくりの推進
- 複合化施設の整備による市街地の一体的開発の検討
- 高校生をはじめとした若い世代の意見を取り入れたまちづくりの推進
- 地域社会全体での地域文化財の総合的な保存・活用のための文化財保存活用地域計画の策定

● まちづくりの指標

No.	指 標	単位	実績値	目標値 (R8)
1	SDGs (持続可能な開発目標) を知っている市民の割合	%	43.4 (R3)	60.0
2	いまり暮らしスタート支援金等を活用した転入者数	人	11 (R3)	696 (累計)
3	高齢者に対する支援が充実していると「思う」、「どちらかといえば思う」人の割合	%	41.5 (R3)	58.0

